

# 大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：北畠委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第3回 防災・あんしん部会			
(2) 開催日時	令和7年9月3日（水） 13:30 ~ 15:30			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室			
(4) 出席した 委員、事務局等 ＜敬称略＞	委員（部会長：志村 陽子）			＜敬称略＞
	蛭子 明子	福田 美和	山内 京子	大江 千枝
	生駒 友一	北畠 拓也	西條 由美子	川端 英吏子
	近藤 博子	窪田 千亜紀		
事務局：高庭 宏之、檜山 咲紀、上玉利 芳綱、小林 琴葉				

## 1 連絡・確認事項

- (1) 司会・書記の確認（司会：蛭子委員、書記：北畠委員）
- (2) 参加者・配布資料の確認

欠席者 名川委員、石塚委員、栗田委員、竹内委員

## 2 前回専門部会の振り返り

前回の議事録の一部とご意見カードのまとめを事務局が読み上げた。

## 3 議題

- (1) スペシャルデーでの出展内容について

＜挙がった意見＞

- ・スペシャルデー全体のイメージとしては、さぼーとぴあ単体の祭りではなく、新井宿特別出張所や地域などを巻き込んだ取り組みになる。「福祉と文化と医療のまち」というコンセプトで開催予定。各企画は調整中。
- ・出展場所のボランティア室は奥まったところにあるため、人を呼ぶ工夫は必要。誘導の方法としてスタンプラリーも考えられる。
- ・他団体で「防災」を掲げているところはないため内容の重複は無さそう。防災についてはこちら、というように呼び込めると良い。座敷もあり、場所をうまく活用できると良い。ヒューマンライブラリーまでいかなくても来場者とお話しして交流できる仕掛けができるなど。
- ・一方で防災や地域をどうしていくか。ヘルプマークとヘルプカードの違いなどを掲示して理解を深める等が取り組みやすいか。当日は1階で、ヘルプカードについて展示予定だが、準備はこれからなので、どのような形にするか相談していく。1階でヘルプカードができた経緯や部会の活動などを案内し、ヘルプカードが欲しい人には3階で配れば良いのではないか。
- ・福祉避難所の展示はないようなので、私たちでやっても良いか。仮設トイレは大きいので、ボランティア室に設置すると埋まってしまう。どこか空きそうなスペースに展示することができるとありがたい。
- ・UDパートナーとして、行政職員の前で「障がい者あるある」を寸劇のように演じたことがある。例えば視覚障がい者が窓口で戸籍謄本を取るときに、まず場所が分から

ないので「誰か声をかけてくれないかな」という心の声をセリフとして話した。次に、自身の付き添いの方と職員が話し始めてしまい「私の個人情報をどうしてこんなに話してしまうのだろう」という心の声もセリフにして話した。聴覚障がい者のケースなど、それぞれでやったことがある。スペシャルデーでもそのような寸劇をお見せするのはどうか。

- ・寸劇はやれると良いなと思った。隣の集会室の企画は何になるのか。ボランティア室の入り口が狭い構造なので、車椅子などで自由に行き来できるか動線が気になる。ヘルプカードについては1階でアナウンスできると良い。実物を見てもらうことは大事なので、ヘルプカードとヘルプマークを手にとって見てもらいたい。本当は仮設トイレもぜひ見て欲しいが、部屋の大きさ的に段ボールベッドかパーテーションなどが限度か。仮設トイレは訓練の写真などがあるので、視覚的に見せられると良い。欲張ってしまい色々貼りたいが、ポイントを絞る必要がある。防災・あんしん部会なので、防災だけでなく権利擁護の点も入れられると良い。
- ・ボランティア室は車椅子だと移動しづらいと思う。段ボールベッドを置くなら、畳のスペースが良いかもしれない。仮設トイレの設置は大きすぎて難しいので、説明動画を流せば良いのではないか。当事者団体それぞれが防災について会議を行っていて、区へ要望を出している。いくつかの団体が共同で要望を出す場合もある。そのような要望を出していること自体も含め、どのようなことに困っているかなどを知つてもらおう機会になればいいと思う。
- ・卓球バレーを紹介したい。パラスポーツには認定されていないが、普及活動を進めている。卓球台の上で、バレーボールのルールを基に行う日本発祥のパラスポーツ。
- ・地域のスペシャルデーとして、以前は新井宿福祉園も含めて、特別出張所、文化の森と4か所で開催していた。その中の一団体としてこの部会も入れてほしい。前回アンケートを取ったら良いのではというアイデアもあった。アンケートを取りつつ、1階から誘導することもあり得るかもしれない。
- ・以前は文化の森で大規模な避難訓練があった。そのときは集会室でヘルプカードを配布したり、シールを貼るようなアンケートを取ったりした。この部会の委員が案内をして、障がい者と会ったことがあるか等の質問にシールを貼つてもらしながら会話をした。交流できたという実感が得られた取り組みだった。防災を背負う必要はないが、この部会の活動についての展示や、どのような人が活動しているのか分かるような資料を展示することになりそう。1階でシールを渡すなどもありか。寸劇については、スペシャルデーではなくこの協議会全体の交流会などができると良いかもしれない。また、地域の祭りなので、教えようというのが強すぎないようにしつつ私たちの活動や思いを伝えられると良さそう。前回の部会で話題になった安心防災帳も紹介できると良いかもしれない。動画を流すというアイデアも出た。大田区の防災危機管理課では、おおた防災セミナーという地域向けのイベントがある。その資料をもらって区の取り組みを紹介しても良い。「障がい者福祉のあらまし」を置いても良い。このようなアイデアを募って、次回の部会で詰めていきたい。
- ・以前に自身が地域で取り組んだ事例だが、壁に「これ欲しい人」みたいなコーナーを設けて、譲りたい人が写真を載せるようなマッチングのコーナーを作った。災害の時に障がい当事者の方がやってほしいことが書いてあり、まちあるきの地図を見ながら、自分だったらこういうことをお手伝いできるかもしれないな、ということを付箋

に書いてもらうと、災害時に自宅付近の障がいのある方に対して何かできるかもしないと考えるきっかけになる。当事者としても、そう考えている人がいることを知る機会になる。子どもでも大人でも書けるので、情報交換ができると今後の部会にとっても良さそう。地域に協力してもらうことを考える上で、地域の方の声を聞ける仕掛けを作ると、これまで見えなかつたものが見えてくるかもしれない。

- ・参加型のワークショップは素敵だと思う。お子さんを含めて地域の人が来るので、簡単なことでも一緒にできる、体験できる、参加してもらう、考えるきっかけになるようなことができると良い。そのためには視覚的にも分かりやすかったり、部屋に入りやすかったりすると良い。
  - ・部屋が狭いので、1周ぐるりと回りながら展示を見ることになる。何かしら考えて書いたり、貼ったり、参加できると良さそう。
  - ・あんしんカフェのように、真ん中に机を置いてカフェをやり続けるのはどうか。来た人は飛び入りで障がい者と直接話してもらう。
  - ・ヘルプカードとヘルプマークの違いをわかっていない方が多いし、当事者自身にも浸透していないと思うので、そこは第一にPRすべき。部会の存在の周知も含めて、何か動画を流しながら展示するのも良い。
  - ・動画など、使用できる素材はあるのか。ゼロから動画を作るのは時間的にも厳しいだろう。
  - ・動画が一番良いが、写真のスライドショーでも良いのではないか。何かしら説明がないと分かりにくい。または、ナレーションをつけるか。寸劇も動画で流せればできると思うが、準備期間が短い。1階の飲食コーナーや休憩スペースで動画を流すことが出来るのであれば見てくれる人も増えそうだが、今回は他のイベントのため難しいか。
  - ・なるべく今あるものでできると良い。寸劇のアイデアとスタンプラリーを絡めて、スタンプを押してもらうには直接話す必要があるようにするのはどうか。ちょっとお土産のようなものがあつても良い。机を1～2台置いておくのは良いと思うが、どれくらい置けるか確認が必要。
  - ・カラーコピーは使用可能なのか。対話のベースがあるのは良い。展示と両立できるだろう。
- ⇒協議会の予算は報償費と白黒コピーくらい。カラーコピーは基本的に使用できない。カラー用紙はストックがあれば使える。プロジェクターは使えるが距離的にどうか。モニターなどは他の企画で使っていなければ使える。
- ・紙にするのが難しいなら、写した方が良い。プロジェクターは他になければ私物を貸すことができる。暗くする必要があるかどうかは実験してみたらいいと思う。

＜まとめ＞

- ・たくさん意見が挙がったが、当日までの期間を考えて、作業部会を実施する必要がある。あらためて日程の候補を挙げてもらう。
  - ・レイアウトや、紹介パンフレットなどを置くコーナーは作るかなども詰めていく必要がある。
- ⇒閉会後、作業部会の開催日時を9月16日（火）10時～12時@A棟3階ボランティア室で決定した。メールにて開催を周知した。

## (2) 当事者（家族）向けアンケートについて

- ・部会発信で、当事者にアンケートを投げてみてはどうか。実態調査を区がやるという話もあるが、この部会が知りたい、という形でスペシャルデーに反映できないか。大元のアンケートをとって困りごとなどをまとめて、スペシャルデーで紹介しても良い。ただし、予算的に難しいという意見がある。そこは各団体で都合の良いやり方で行い、まとめれば良いのではないか。手作りで投げかけられる範囲でやれば良いと考えている。大田区民で障がいがある方に対しウェブ上で募っても良い。
- ・各団体へのアンケートは問題ないが、自立支援協議会として広く区民に呼びかける場合は確認が必要。
- ・アンケートの想定質問は、生活上の困りごと、災害時に必要なこと、個別避難計画を知っているのか、作成しているのか、避難行動用支援者名簿を知っているのか、登録しているのか、の6問。区が無作為に行うアンケートとは違う意味があると思う。
- ・アンケートを集めてその後どうするか。
- ・アンケートをとって、どんな困ったことがあるのかを改めて知りたい。間に合えば、その結果をスペシャルデーで示せる。また、協議会の活動として蓄積できる。
- ・自立支援協議会としての成果を残したいためにやるのか。あんしんカフェも「やりました」、アンケートも「取りました」、その後当事者にどう活かすのか。多くの人に知つてもらう術があるのか。私たち以外の社会の人たちに知つてもらうことが、この部会の大切さだと思う。そこに深く関わっていければと思う。災害発生時に障がいがある人にどうサポートすれば良いか、分かっている人は役所にもどれだけいるのか。ビブスがどこにしまってあるのか等。選挙の時のコミュニケーションボードも、あってもどう使うか分からない、どこにあるか分からない。そのようなところを根本的に動かさないといけないと思う。地震が起きた時にどのようなサポートが必要か当事者は分かっているので、そのようなことを地域の方に発信することが重要だと思っているが、個人ではできない。そのような活動をやっていけば良いのではないか。この部会委員ではない方に知つてほしいことを発信できれば良いと思う。
- ・社会に、という話があったが、そこに辿り着くまではまず小さいことからコツコツと、例えばスペシャルデーでアンケートの回答を集めて、視覚障がいだったら災害時にこういうことに困っている、そういうことを言葉や文字に表していく。そこに対して一般の人やお子さん、他の障がい当事者が、私はこういうことをできるよ、と書かないまでも、気付いてもらう。そういうことをじわじわと広げていくことをスペシャルデーなどで知つてもらう。個人ではできないとおっしゃっていたけれど、十分発信できていると思う。電動の車椅子でまちを歩くだけでも、発信につながっている。
- ・アンケートは提案なので、みなさんのご意見次第。動機は、この部会に長くいる立場として、あらためて生の声を聞きたい。ここで話していることは、実感や体感として区の防災会議に持っていくことができる。
- ・アンケートをやることは賛成。ただ、目的やその後どうするかは大事なので、取つて終わりは良くない。別で意見が挙がった、付箋で書いて貼るというのはとても良い。実際に子どもが書いた思いも付箋で表現できるのは良いこと。当事者が参加している部会で、もっと知って欲しいということがあるだろう。まずはこの所属だけで良いので、試験的にやってみるので良いのではないか。まずはハードルを下げて、こうい

う時にこういうことで困る、というのを知ってもらう。その上で、当事者もいるので、マイタイムラインなどの取り組みを知ってもらう。障がいがなくても困ることはあるので書いてもらう。それくらいにハードルを下げた方が良い。

- ・アンケートへのリターンについて、いくつかの項目をスペシャルデーにして、それに対しての意見をまとめてお知らせするとか、そういうのでも良いかと思う。ちゃんとを考えている人もいると知れたり、日々の生活で一緒に何かできることがあるかなと考えたりするきっかけになる。簡単なことからやれれば良いと思う。
- ・個別避難計画を作っているのかどうか等が把握できると福祉管理課などと話す時の根拠になる。何回もやるアンケートではないが、まずはこの部会にご縁のある方に投げるアンケートとしてやりたい。
- ・同じ障がいや病気でも必要なことは違うので、会って話すことはすごく重要。カフェの成果は自分のことを話せたこと。アンケートもその結果を見てもらって派生するやりとりができれば良いのではないかと思う。終わったあとに、みんなで共有できれば良い。
- ・内容については今日話したことを実現できるように、次回の部会の前に一度話を詰める。アンケートは可能な範囲で進める。
- ・スペシャルデーのチラシはいつごろできるか。早めに欲しい。  
⇒区報では 10/11 に掲載する。区設掲示板は 10/14 に掲示予定。

#### 4 委員及び各関係機関からの情報提供

##### （1）情報提供

区民企画講座「ユニバーサル社会って誰のもの？」の実施が決まった。3回あるので、どこかで参加してほしい。あらためてお知らせするが、10/23、11/6、11/13 の開催。

##### （2）ご意見カードの記入

※次回の日程 第4回専門部会：令和7年10月1日（水）13時30分～15時30分  
会場：さぽーとぴあA棟5階多目的室

※作業部会についてはメールにて周知する。